大邱大学

（大韓民国）

（Ｄａｅｇｕ　Ｕｎｉｖｅｒｓｉｔｙ）

交流協定締結年月日：2005年5月17日　主管学部：経済学部

国際交流の特色（大学紹介）

大邱大学は、韓国第3の都市大邱市に1956年に韓国で初めての障害者教育の高等教育機関として創立され、現在、学部数14、大学院数7、そのほか17の付属機関や5つの付設研究所などを擁する韓国有数の規模を誇る総合大学である。このため、特に特殊教育・リハビリテーション・社会福祉・ライフサイエンスの分野では韓国でトップクラスにあるといわれている。電子工学や情報通信などの分野でも韓国優秀大学の一校に選ばれており、学部間学術交流協定を締結した経商学部は、近年優秀な人材を多数スカウトし、目覚しい発展を遂げ、国際学会を開催するなど急速に注目を浴びるようになっている。

交流実績（平成25年度～27年度）

平成25年度　短期（6ヶ月）日本語プログラム　3名 日本語語学研修プログラム　1名 （インターナショナルオフィス）	平成27年度　本学学生の派遣　0名 大邱大生の受入　2名（教育1、農1）

教員からの声

2005年5月国際学術交流協定の締結以来、大邱大学と本校経済学部の間では、教員レベルの学術研究交流や学生レベルの教育交流が進められてきています。

2005年に大邱大学経商学部の先生を招いて交流協定締結の記念講演会を開催したのをはじめ、2006年には大邱大学の新任学長の李学長と国際交流センター長が本校を表敬訪問し、2007年には香川大学経済学部主催の国際シンポジウムに大邱大学の先生が参加し報告されました。また、学生のレベルにおいても、2007年4月から、毎年、大邱大学経商学部から数名の交換留学生を本校経済学部で受け入れています。今後も両校の交流の機会を増やし、相互理解を深めて行く場として貢献できるよう前進してまいります。

経済学部准教授　朴　鏡杓

大邱大留学生からの声

私が香川大学の交換留学生に選抜された数日後、東日本大震災が起こりました。そのため周囲からの心配の声も多く、一緒に選抜された学生のなかには辞退した人もいました。私も不安や心配が全くなかったわけではありませんが、「今じゃないとこんなチャンスは二度とこない」と思い、日本への留学を決心しました。予定通り2011年4月5日に高松空港に到着すると、香川は思ったよりはるかに穏やかでゆったりとした雰囲気でほっとしました。その時、私は「ここまで来たからには、できるだけたくさんのことを経験しよう」と心に決めました。そして、高松市主催の‘外国人のど自慢’に参加したことをはじめ、アルバイトや旅行など色々なことを体験し、それらを通じて多くのことを感じ、多くのことを学びました。ここ日本での時間はあと2ヶ月くらいしか残っていませんが、短いといえば短く、長いといえば長い留学期間中に、より多くのことを経験できるよう最後まで頑張りたいと思います。

大邱大学交換留学生　金　世仁

大邱大学
(Daegu University)

●学部学生　18,000 人
●大学院生　1,900 人
●教職員　915 人

ホームページ　http://daegu.ac.kr